

防府消化器病センター

一般財団法人

7・8月

いてふ

ICHO-No.27 2019

Message from our Director

敷地内禁煙の意味するところ

病院長 三浦 修

山口県においても、がんによる死亡者数は死因別割合の第1位であり、全体の約4分の1を占めていて、毎年5000人近くの方が亡くなられています。その中でも肺がんは、この5年以上部位別死亡第1位の座を譲っていません。

肺がん発症の最大の危険因子はたばこ煙の暴露ですが、平成15年に受動喫煙の防止が健康増進法の「努力義務」とされてからも、職場や飲食店での受動喫煙はほとんど改善されていない現状です。厚生労働省は改正健康増進法で受動喫煙対策強化のため、学校や病院、児童福祉施設や、行政機関などの敷地内すべてを原則禁煙としました。自分の車の中での喫煙も、上記敷地内では禁止となります。

本年7月1日から施行されるこの改正法案の最大目標は、「望まない受動喫煙」をなくすことであり、とくに子供や患者さんへの影響を配慮したものになっています。非喫煙者が、望まずに受動喫煙をしてしまうことがないように、また喫煙者も意図せずに第三者に対して、受動喫煙させてしまうことがないように、この改正健康増進法が徹底されなければなりません。



ご挨拶

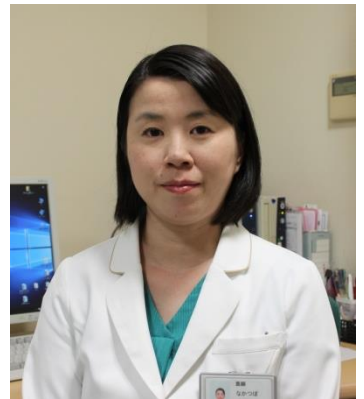
健診センター 医師 中坪 幸子

はじめまして。放射線科医の中坪幸子と申します。防府消化器病センターで検診の仕事をさせて頂いております。自己紹介もかねてご挨拶させて頂きたいと思います。

私は周南市の湯野の出身で、湯野小学校、桜田中学校、徳山高校、山口大学とずっと地元で過ごしてきました。中学生の頃からNHKスペシャルなどで人体の不思議について特集された番組が、とても好きでしたので、医学の分野を勉強したいと思い、山口大学医学部に入学しました。卒業後は放射線科の道に進み、8年前から光中央病院で検診の仕事をしておりますが、ご縁があって約3年前から、防府消化器病センターでも検診の仕事をさせて頂いております。検診部では主に、胸部X線写真や胃X線写真の読影、胃カメラや大腸カメラの検査を行ったり、検診結果の作成をさせて頂いております。また当院ではマンモグラフィーを新たに導入し、間もなく乳癌検診を始める予定です。乳癌検診については、光中央病院で8年間携わってきましたが、当院でも従事させて頂ける事となり、大変嬉しく思っております。乳癌は女性の癌の中では罹患率の高い病気で、幅広い年齢層の患者さんがおられます。30代以降になると乳癌の患者数は徐々に増加し、40代・50代が一番多いですが、高齢化に伴い、さらに上の年齢層の方の乳癌も増えてきています。私は今30代ですが、私と同じように小さいお子さんを育てているお母さん世代の方が、乳癌と診断される事もあり、何度か立ち会ってきました。その時のお気持ちを考えると、胸が締め付けられるような思いになります。子育てで忙しい時期とは思いますが、子育て世代の人達にもぜひ検診を受けて頂きたいと思います。早期発見できれば完治も望める病気で、生存率も高いのが乳癌の特徴の一つだと思います。

乳癌検診では主に、マンモグラフィーと乳腺エコーの検査がありますが、それぞれの検査において長所と短所があります。

例えば、実際にあったケースですが、エコーでははっきりした腫瘍は見られませんが、マンモグラフィーで石灰化という異常所見があり、ある程度病変の位置を予測しながらエコーを入念にしていくと、淡い低エコーと石灰化がかるうじて見られ、組織検査の結果癌であった、という事



検診マンモグラフィー読影認定医
中坪 幸子 医師

がありました。術前のPET検査でもはっきりした病変を特定できない程の、腫瘍を形成しないタイプの癌でした。

逆に、若い世代の人達は乳腺が多く、マンモグラフィーが全体的に白く写り、癌である白い腫瘍が隠れてしまい全く分からず、乳腺エコーを做的是っきり腫瘍として異常が見えてくる、という事もあります。エコーは、石灰化や乳腺の構築の乱れなど、全体像を見るのは不得意ですが、乳腺が多い人でも、腫瘍状の癌などを見つけるのは大変優れた検査です。また、エコー検査はX線を使わないので、妊婦さんや授乳中のお母さんでも行う事ができます。

このようにそれぞれの検査の長所・短所があるため、妊婦さんや授乳中の方を除いては、私はぜひ両方の検査を併用した検診をお勧めします。

どの病気についても言える事ですが、健康寿命をのばし元気に生きるためには、早期発見や予防医学に勝るものはない、と言っても過言ではない程重要だと思います。今一度私たち一人一人が生活習慣に意識を向け、少しずつ改善し、年に一回は検診でご自身の体をチェックして頂ければ幸いです。ぜひ検診を受けてみてください。

乳がん検診ははじめます

マンモグラフィー・乳腺エコー

8月8日検診開始(予約受付中)

ご予約 0835-25-8708

お気軽にお問い合わせください

防府消化器病センター 健診センター

マンモグラフィー装置導入

放射線科長 相川 義治

この度、健診部にマンモグラフィー装置が導入されました。

乳房専用の X 線撮影装置のことです。

女性の 11 人に 1 人が発症するといわれている乳がんを見つける為に、必要な検査の一つです。

マンモグラフィーは、微細な石灰化を映し出せることが大きな特徴です。乳がんの中には腫瘍を作らないがんがあります。この石灰化が早期乳がんの発見に役立ちます。

撮影法は、乳房を上下と斜めに挟み圧迫して撮ります。圧迫し薄くすることにより、乳腺の重なりを少なくして読影しやすい写真が撮れます。また、被ばく線量の低減にも繋がります。

当院では、乳腺エコーとマンモグラフィーの併用を基本とし、それぞれの特徴を生かすことにより、早期発見につなげることが可能になります。

乳がんは、女性の罹患率第 1 位であり増加傾向にあります。しかし、**2016 年厚生労働省の統計によりますと山口県の乳がん検診受診率は全国最下位**です。

乳がんは、早期発見出来れば生存率が高いがんなので、40 歳以上の女性の方は、是非、乳がん検診を受けられることをお勧めします。



健診センターからのお知らせ

健診課主任 飯干 雄一郎

近年、全国的に健康に対する関心が高まっているように感じられますが、厚生労働省の特定健診の受診率調査によりますと**山口県は全国平均を大きく下回り、最下位から 4 番目**という結果になっています。そこで、皆様が**健診や受診率全国最下位の乳がん検診**を受診できる機会を増やすべく、当センターでは市内の検診機関でも導入の少なかった**マンモグラフィー**を導入しました。

日本では乳がんが年々増加し、毎年約 7 万人の人が罹患しています。乳がんになりやすい年齢をみると、30 歳代後半から増えてきて 40 歳代後半にピークがあり、70 歳を過ぎてもそれほど減りません(図 1)。現在、厚生労働省では 40 歳以上の女性を対象に 2 年に 1 回乳がん検診を受診することを推奨しています。40 歳以上という制限があるのは、40 歳未満では乳腺が発達しているため、マンモグラフィーでは乳腺の異常がわかりにくいということが理由の一つです。

また、当センターでは乳腺超音波検査も実施しています。

超音波検査(エコー)とマンモグラフィーを併用することで、マンモグラフィー単独より多くの乳がんが見つかることが近年の研究の結果わかってきています。

定期検診を受けることで自覚症状がまったくないときでも、早期発見・早期治療に繋がりますので、ぜひ一度、乳がん検診を受けられてみてはいかがでしょうか？

※予約制となっております。詳しくは当センター健診受付までご相談ください。

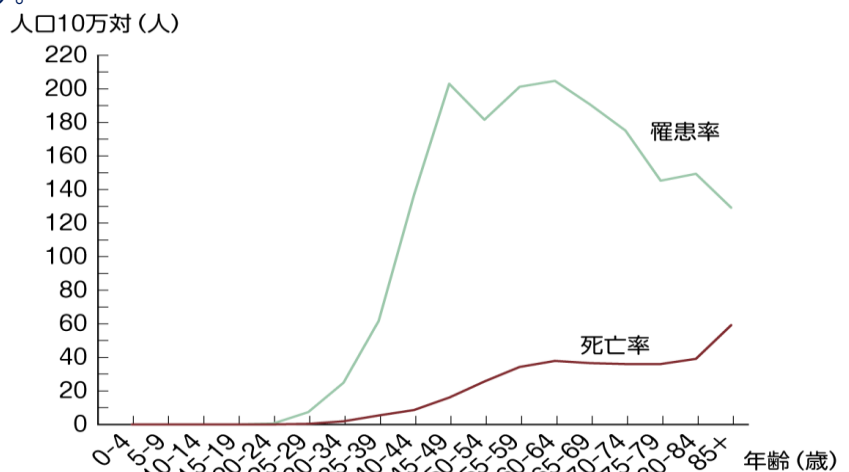


図 1 日本人女性における乳がんの年齢階級別罹患率(2011 年)と死亡率(2014 年)
(出典: 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」)

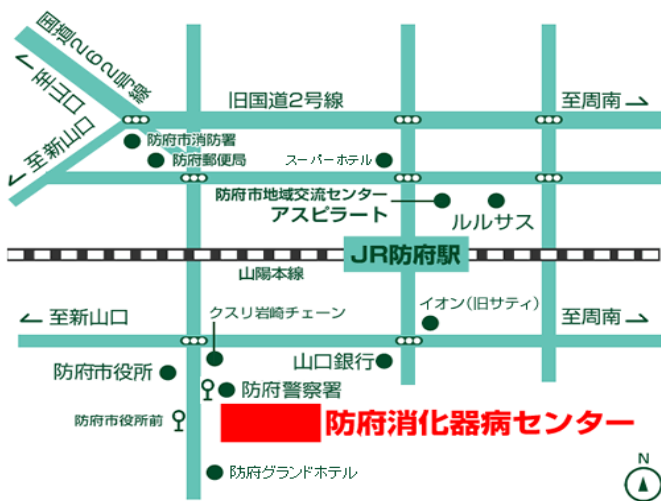
外来診療予定表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	松岡	三浦	三浦	松岡	三浦	交代制
	2診			竹尾	藤原 9:00～		交代制
	3診	藤原 9:00～	竹尾	柿本	三浦	松岡	交代制
	5診	柿本	松岡	鴨打	竹尾	鴨打 10:30～	
	6診	南園	戸田 9:00～	南園	鴨打	柿本	
	肛門外科	宇都宮		宇都宮		宇都宮	
午後	1診	戸田	休診	戸田	休診	戸田	休診
	肛門外科	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診

	診療日時	受付時間	診療時間
平日	午前	8:00～11:00	8:30～
	午後(月・水・金)	13:30～16:30	14:00～
土曜日	午前	8:00～11:00	8:30～

※ 肛門外科：午後は手術等が中心となりますので、外来受診については当日お問い合わせください。
土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。
出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。
担当医が不在の場合は代替りの医師にて診療を行います。

Access



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33

TEL: 0835-22-3339 (代表)

H P: <https://www.hofu-icho.or.jp>



■交通機関のご案内

【電車】 JR 防府駅よりバス 2分 (防府市役所前下車)

または JR 防府駅より徒歩 10分

【バス】 防府市役所前下車

【お車】 山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10分

Editorial Note

激しい暑さが続いておりますが、皆様、健やかに過ごしてでしょうか。猛暑や激暑と表現されますが、まさに文字通り猛烈な激しさで、時に生命の危険を感じます。今年の梅雨入りは例年になく九州とともに遅いものとなりましたが、最近では「例年と違う」が当たり前になってきた感があります。今月は合併号となりましたが、七夕には願いをしたためられましたか。あっという間にまたお盆も参ります。皆様もご自愛のほどお願い申し上げます。記録更新の酷暑にならないことを祈りつつ。

事務局長 栗林左知